

〈解答〉

1	きんこう	2	ぎんみ	3	ゆいいつ	4	ふぜい
5	ばっさい	6	くちよう	7	うなが	8	ただよ
9	おお	10	おちい	11	いちじる	12	さえぎ
1	指摘	2	納得	3	対象	4	容易
6	維持	7	厳	8	招	9	懐
11	備	12	崩			10	支
1	にんべん・5	2	りつとう・10	3	がんだれ・7		
4	くにかまえ・10	5	うかんむり・8	6	しかばね・5		
7	まだれ・7	8	えんによろ・4	9	くさかんむり・7		
10	しんによろ・9	11	おおぎと・8	12	りつしんべん・7		
13	てへん・10	14	あくび・10	15	れんが・11		
16	やまいだれ・5	17	さら・6	18	たけかんむり・12		
19	いとへん・12	20	ぎようがまえ・9	21	そうによろ・8		
22	もんがまえ・6	23	ふるとり・11	24	おおがい・9		
1	エ	2	ウ	3	ア	4	ウ
9	エ	10	ウ	11	イ	12	ア
		13	ア	14	イ	15	ウ
		16	ア	17	ウ	18	ア
		19	ウ	20	イ	21	ウ
		22	エ	23	ア	24	ウ
		25	エ	26	ア	27	ウ
		28	エ	29	ア	30	ウ

配点 各1点 64点満点

〈解説〉

- 1 「均衡」とは「いくつかの物事の間釣り合い」。
- 2 「味」の訓読みは「あじ」。「吟味」とは「理論・品質・内容・罪状などについて、詳しく調べ確かめること」。
- 3 「唯一」とは「ただ一つで他にはないこと」。
- 4 「風情」とは「独特の趣・味わい」。「情」の音読みは「ジョウ」「セイ」、訓読みは「なげ」。
- 5 「採」の訓読みは「とる」。

- 6 「口」には「コウ」の音読みもある、訓読みは「くち」。「調」の訓読みは「しら(べる)」「ととの(う)・ととの(える)」。
- 7 「促」の音読みは「ソク」で、促成・促進・催促などの熟語がある。
- 8 「漂」の音読みは「ヒョウ」で、漂流・漂着・漂白などの熟語がある。
- 9 「覆」には「くつがえ(す)、くつがえ(る)」の訓読みもある。音読みは「フク」で、覆面・転覆などの熟語がある。
- 10 「陥」の音読みは「カン」で、陥落・陥没・欠陥などの熟語がある。
- 11 「著」には「あらわ(す)」の訓読みもある。音読みは「チョ」で、著名・顕著・著者などの熟語がある。
- 12 「遮」の音読みは「シャ」で、遮断などの熟語がある。
- ②
- 1 「指」の訓読みは「さ(す)」「ゆび」、 「摘」の訓読みは「つ(む)」。
- 2 「納」の訓読みは「おさ(める)、おさ(まる)」、「得」の訓読みは「え(る)」「う(る)」。
- 3 「対照」や「対称」などの同音異義語があるので、使い分けに注意すること。
- 4 「易」の訓読みは「やさ(しい)」。
- 6 「持」の訓読みは「も(つ)」。
- 7 「嚴」には「おごそ(か)」の訓読みもあり、音読みは「ゲン」「ゴン」で、威嚴・尊嚴・厳格・嚴重・厳密・厳粛・莊嚴などの熟語がある。
- 8 「招」の音読みは「ショウ」で、招待・招集などの熟語がある。
- 9 「懷」には「なつ(く)・なつ(ける)」「ふところ」の訓読みもあり、音読みは「カイ」で、懷中・懷古・述懷・懷柔などの熟語がある。
- 10 「支」の音読みは「シ」で、支持・支援・支障・支離滅裂・支部・気管支・支配・支出などの熟語がある。
- 11 「備」の音読みは「ビ」で、準備・設備・整備・不備・軍備・守備などの熟語がある。
- 12 「崩」の音読みは「ホウ」で、崩壊などの熟語がある。
- ③
- 部首や画数は、漢和辞典で調べておくこと。8は「えんにゆう」、10は「しんにゆう」、15は「れつか」、20は「ゆきがまえ」、22は「かどがまえ」でもよい。
- ④
- 漢字の主な成り立ちは、次の四種類である。
- ア 象形 物の形を象って、その物を表したものを。
- イ 指事 絵では示しにくい事柄を、抽象的な記号やその組み合わせの約束によって表したものを。
- ウ 会意 二つ以上の字を組み合わせて、新しい意味を示したものを。
- エ 形声 二字を組み合わせて、一方で音、他方で意味を表したものを。